

参加
無料

ふくらむ
フクシ
研究所
vol.2

ふくらむ 映画祭 2023

12/3 日

11:00~18:30

草加市立松原児童青少年交流センター
miraton <ミラトン>



上映中に走り回ったり声を出したりしても問題ありません。大人も子どもも障がいがあってもなくても、誰でも楽しめる映画祭を目指して開催します。今回は「37セカンズ」と「コーダあいのうた」の上映に加え、ほか数本の映画の上映、また体験型のコンテンツやワークショップもご用意しています。子どもでも大人でも楽しめますのでお気軽にお越しください。

「ふくらむ映画祭」は、フクシにまつわる映画を見たり障がいがあってもなくても気軽に楽しんだりすることのできる映画祭です。

「ふくらむ映画祭」は、

ふくらむフクシ研究所って？

ふくらむフクシ研究所(ふくフク研)は、トークショーや勉強会、ワークショップや地域での実験をしながら、「福祉の世界に新しい価値を「膨」らませ、また「含」ませていくための研究・活動を行っています。そのためには、一方向的な関わりではなく、対話的な関係性づくりをする必要があります。支援される側と支援する側、障がいのある人と障がいのない人、福祉サービスと日常生活という境界をにじませながら、多様な暮らし手が「ともに生きる」を実践していければと考えています。

11.29
(wed)
締切



お申し込みはこちら！

参加者把握のため、事前にお申し込みのほどよろしくお祈りいたします。

定員200名

※できるだけ事前のお申し込みをお願いしております。枠が空いていれば当日参加も可能ですが、参加者が多い場合はお断りする可能性もございます。あらかじめご了承ください。

本映画祭はみんなで創る「だれもが幸せな」あしたの暮らしと福祉のカタチを目指す「福祉プラスのまちづくり」事業の一環で行われています。

草加市立松原児童青少年交流センター

miraton <ミラトン>

埼玉県草加市松原4-4-3
獨協大学前駅西口徒歩13分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



備考

- ・上映中に声を出したり、走ったり、動いたりしてもまったく問題ありません。途中の入退出もかまいません。
- ・休憩できるスペースを会場内に確保しています。
- ・敷地内での飲食(水分補給を除く)はできません。
- ・上履きをご持参ください。※車椅子はタイヤを拭いての対応になります。
- ・特別の配慮が必要な場合は申し込み時にご相談ください。

お問合せ

TEL: 048-922-1436 FAX: 048-922-1153

(草加市 障がい福祉課 障がい福祉係 岡田・武内)

Email: info@coconiaru-inc.com

(株式会社ここにある 藤本・大森)

※この事業は、埼玉県ふるさと創造資金の補助を受けています。

主催:草加市 企画運営:株式会社ここにある・ハングオーバー株式会社

協力:株式会社小島商事

デザイン協力:NPO法人Japan Improvement Association(あある) / NPO法人believe(cafe and farm Lento)

SNS-WEB /



ふくらむ
フクシ
研究所

詳細は草加市サイトおよびふくらむフクシ研のSNSでご確認ください。

映画上映

ホール



手話



副音声



字幕



UDキャスト

コーダあいのうた

豊かな自然に恵まれた海の町で暮らす高校生のルビーは、両親と兄の4人家族の中で一人だけ耳が聴こえる。陽気で優しい家族のために、ルビーは幼い頃から“通訳”となり、家業の漁業も毎日欠かさず手伝っていた。新学期、秘かに憧れるクラスメイトのマイルズと同じ合唱クラブを選択するルビー。すると、顧問の先生がルビーの歌の才能に気づき、都会の名門音楽大学の受験を強く勧める。だが、ルビーの歌声が聞こえない両親は娘の才能を信じられず、家業の方が大事だと大反対。悩んだルビーは夢よりも家族の助けを続けることを選ぶと決めるが、思いがけない方法で娘の才能に気づいた父は、意外な決断を…。



© 2020 VENDOME PICTURES LLC, PATHE FILMS

パンダコパンダ

竹やぶの一軒屋にたった一人で住んでいた少女ミミ子。小学生ながらしっかり者のミミ子が買い物から帰ってくると小さなパンダのパンちゃんが庭にいた。さらにその親のパパンダも登場。ミミ子に父親がないことを知ったパパンダは自分が父親代わりになると言い、ミミ子はパンちゃんの母親になると決める。こうして2頭はそのままミミ子と暮らすことになり、奇妙で楽しい新生活が始まった。宮崎駿原案の、ユーモラスなアニメーション。愛くるしい2頭のパンダは今なお人気です。



© TMS

37セカンズ UDC

ユマ23歳。私は私でよかった——。生まれた時に、たった37秒息をしていなかったことで身体に障害を抱えてしまったユマ。親友の漫画家のゴーストライターとして、ひっそりと社会に存在している。そんな彼女と共に暮らす過保護な母は、ユマの世話をすることが唯一の生きがい。毎日が息苦しく感じはじめたある日。独り立ちをしたいという一心で、自作の漫画を出版社に持ち込むが、女性編集長に「人生経験がない作家に、いい作品は描けない」と一蹴されてしまう。その瞬間、ユマの中で秘めていた何かが動き始める。これまでの自分の世界から脱するため、夢と直感だけを信じて、道を切り開いていくユマ。ユマの挑戦を支えるヘルパー・俊哉(大東駿介)、娯婦・舞(渡辺真起子)との出会いを経て、その先で彼女を待ち受けていたものとは…。



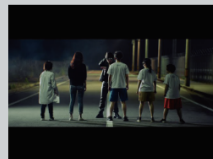
今回は上映後、特別に主演の佳山明さんのトークショーも予定しています。どうぞ期待ください。

Photographer
児玉成一



SHUWACHAN BARRIER CRASH

あのターミネーター2をパロディで再現!令和の時代にあの男が甦る!2020年、世界は一変する。加速するオンラインコミュニケーションの世界。取り残された人を救うため、未来から1人の男がやってきた。その男の正体は? 目的は一体!?



ざんねんないきもの事典

「アライグマは食べ物をあらわない」「オンドリの夫婦はじつは毎年相手が違う」など、進化の過程で培われた、どこかおかしく愛らしい、いきものたちの「ざんねん」な生態を



紹介し、話題となった児童書を原作にしたショートアニメ。個性あふれるクリエイター陣が、子どもも口ずさめるような歌や、大人もクスリと笑ってしまうようなユーモアあふれる会話劇をまじえて、いきものたちの生態を描きます。

© TAKASHASHI SHOTEN / NHK, NEP, ファンワークス

こどもの形而上学



数字頭のこども、顔を巻き取り携えるこども。両目を魚がサポートしてくれるこども。こどもの生態と哲学を、悲しみとユーモアを添えてスケッチした短編映画。

© Yamamura Animation, Inc. All rights reserved.

タイムライン



11:00 ▶ 11:05

オープニング

※タイムラインは状況により若干の変動がある可能性があります。あらかじめご了承ください。



11:10 ▶ 13:01

コーダあいのうた



13:20 ▶ 13:50

パンダコパンダ

音声なし

14:05 ▶ 14:10

こどもの形而上学



14:25 ▶ 14:45

SHUWACHAN BARRIER CRASH



15:00 ▶ 15:50

ざんねんないきもの事典



16:05 ▶ 18:00

37セカンズ



18:00 ▶ 18:25

37セカンズ主演俳優・佳山明さんトークショー



18:25 ▶ 18:30

クロージング

体験コンテンツ

マルチルーム

木のワークショップ (小島商事)

廃材や木くずを使ったワークショップ。と言ってもなんでも自由につくることができるワークショップです。好きな形に積んでみたり、ひっつけてみたり、好きにやっちゃってください。



「福祉プラスのまちづくり」ロゴ制作ワークショップ

ロゴといえば目に見えるものと思ってしまうですが、それだけじゃないはず。いろんな人が感じたり、触れたりすることのできるロゴをみんなで作ります。子どもも大人も自由に参加可能。